

# 生活保護世帯は困窮

## 社会保障改善求め全生連行動

全国生活と健康を守る会連合会（全生連）は6日、2014年度概算要求行動を都内で行い、全国から約100人が参加しました。

生活保護、介護保険、国保・医療、被災者支援、就学援助など、社会保障制度の改善を政府に要求しました。国会内で開かれた集

会で全生連の安形義弘会長は、史上最大幅となる生活保護基準の引き下げ強行、生活保護法の改悪などの大

規模な社会保障改悪を批判。「怒りの行動を広げ改悪をストップさせよう」とのべました。日本共産党の高橋

ちづ子衆院議員、辰巳孝太郎参院議員もかけつけあいさつしました。

省庁交渉では生活保護の利用者も発言。8月からの保護費の削減で「生活はさらに困窮し、家賃も払えない」（男性）、「とても不安で、死んだほうがいいのかと思うこともある」（女性）と実態を訴

えました。

ほかに▽熱中症対策として生活保護利用者すべてへのエアコン設置、エアコンの電気代の補助▽生活保護の老齢加算の復活▽国庫負担を増やし、国保料・税を引き下げる▽東日本大震災被災者の医療費免除の復活と仮設住宅の改善などを求めました。



集会であいさつする高橋（右）と辰巳（左）の両議員＝6日、国会内